

# 刈谷市 安心・快適で活力ある刈谷のまちづくり

## 鈴木浩二 市政レポート



2017.9 No.25号

連絡先: 〒448-8661 刈谷市昭和町1-1

TEL:(0566)-25-9950 FAX:(0566)-23-8688

発行: 鈴木浩二後援会

### ～ご挨拶～

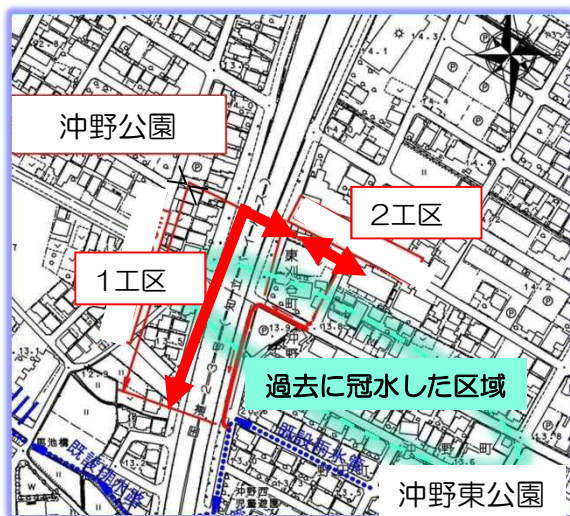
さわやかな秋晴れの日が続いております。地域において、運動会や祭りなど、秋特有のイベントが多く開催され、皆さんからの色々な話を聞く機会をいただいております。今後も、より多くの皆様のお話を聞き、勉強してまいります。

さて、9月議会では、陳情5件、報告2件、同意案件3件、議案18件の審議を実施しました。平成28年度の決算内容や一般質問での市に対する質問・要望など、皆様に伝えたい内容を抜粋し、報告させていただきます。

### 9月議会トピックス（沖野町雨水管整備工事：平成30年度市長への会派要望）

#### 暮らしの相談の早期実現に向け、定期的にフォローしていきます。

雨水管整備工事（平成30年度）に対し、9月の補正予算で2工区が予算化（予算：1400万円）



この予算化により、野田・東刈谷地区で過去に冠水被害があった場所は概ね対策が完了する見込み



雨水管を挿入することで、冠水を防ぐ

再び被害を起こさないために早期実現が必要

#### 皆さんからの声を基に、来年度の予算編成に向けた要望を市長に提出しました。

重点要望37件、その他要望38件にまとめ、来季予算に反映してもらえるよう説明し、要望



トヨタ系議員6名が市民とのふれあいトークなどを通じて集めた組合員の声



都市環境分野	29件	福祉安全分野	29件
教育文化分野	7件	計画推進分野	3件
産業振興分野	7件		

1つでも多くの皆さんの声が政策実現されるように議会でフォローしてまいります。

# 9月議会での一般質問の内容

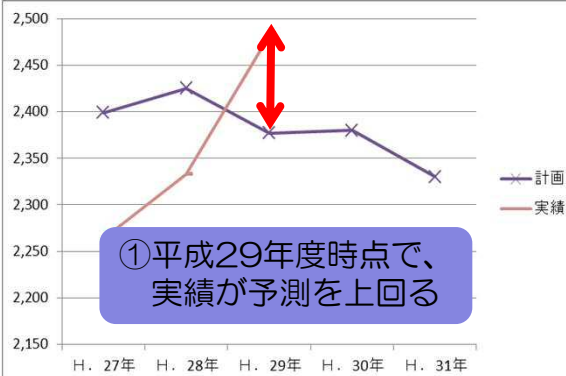
## 1. 保育園の待機児童対策

待機児童12名、潜在待機児童188名（平成29年4月時点）



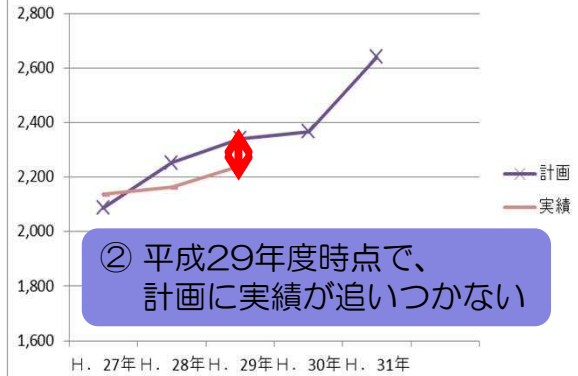
保育園の待機児童対策として、保育園のニーズを予測し、対応する確保計画を示しているが、子ども子育て支援計画が**黄信号**

＜保育の需要予測と実績＞



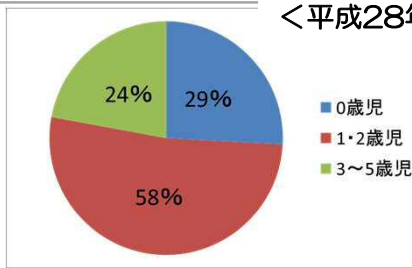
①平成29年度時点で、実績が予測を上回る

＜保育の供給計画と実績＞



②平成29年度時点で、計画に実績が追いつかない

＜平成28年度 入園待ち人数の年齢別割合＞



③0～2歳児の入園待ち人数割合が高い  
⇒通常の保育園の受け入れ年齢構成では解消できない（大規模な保育園が多数必要になってしまう）

①保育の需要の実績が予測を上回っているのは何故？今後どうなるの？

➡既存園の拡張と民間保育園の新設を行ってきたものの、**開園予定だった社会福祉法人1園（120人分）が辞退したため。**

②保育への対策の遅れは何故？今後の新園の予定は？

➡国の女性活躍推進の取り組みが保育の更なる需要に繋がった。**長期的な需要の予測は難しく、このような状況が続いてしまう。** 来年2園、225人分、平成33年に2園、計4園計画がある。

③0～2歳児の保育が足りない。0～2歳児専用保育園への見解は？

➡来年から一部保育園・幼稚園で、**0～2歳児の保育を確保するための試行（下記の試行A・B）**を実施する。

### ＜試行内容：幼保一体の受け入れ体制整備＞

**試行A** 公設公営の一部保育園（富士松北、日高、慈友、双葉）を0～2歳児専用の保育園に移行※

狙い：保育需要の高い乳児の受け入れ人数を拡大し、待機児童を解消する。

**試行B** 一部幼稚園（富士松北、小高原、朝日）における預かり保育時間を保育園並みに拡大※

狙い：保育園しか選択できなかった世帯の3～5歳児の受け入れを幼稚園でも可能にする。

#### メリット

保育園で0～2歳児の保育を拡大しつつ、幼稚園で預かり時間拡大し3～5歳児を受け入れる。

#### デメリット

- ・転園しなければならない
- ・地域性の高い近隣の幼稚園に入れるとは限らない。

※詳細は、かりや市民だより10月号をご参照ください。

<https://www.city.kariya.lg.jp/shisei/kohokariya/simindayori/2017dayori1001.html>

**今回の試行で保育確保に向け前進したものの、試行内容を踏まえ、保育の充実を求める市民にとって最善策かどうか、引き続き注視するとともに、皆様の声を届けてまいります。**

# 9月議会での一般質問の内容

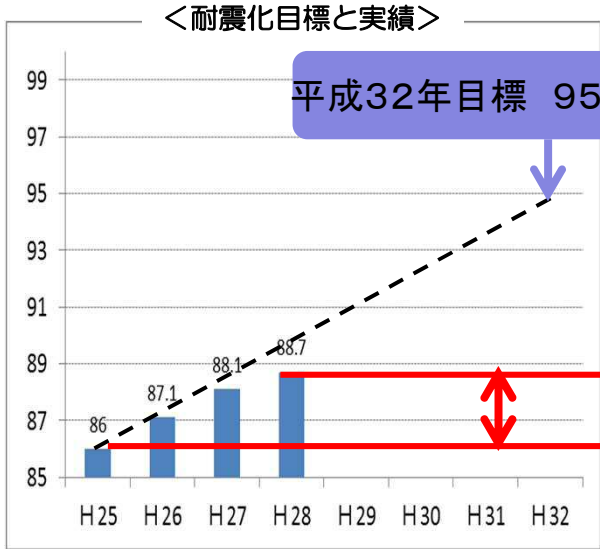
## 2. 耐震化の促進

耐震性の無い住宅の取り壊し補助の増額を主張

南海トラフ地震における過去最大レベルの被害想定では、家屋の倒壊が最も被害をもたらすとされている  
(倒壊6200軒、倒壊による死者300人)

住宅の耐震化の促進が必須

### 住宅の耐震化率



非木造住宅…現在98.6% (平成32年目標：99.0%) **ほぼ達成**  
木造住宅…**75.8%** (平成32年目標：89.8%) **課題!**

木造住宅の耐震化率を上げるための効果的政策は？

2.7% (H25年比) 耐震化向上の要因

- 0.6%：耐震性がある新築の住宅総数の増加
- 2.1%：耐震性が無い住宅の減少**

**取り壊しが鍵!**

### 従来市の補助制度

	補助金額	耐震化への寄与度
耐震改修工事費の補助	最大120万円	低
取り壊し工事費の補助	20万円 (国10万円、刈谷市10万円負担)	高

低補助額で、耐震化率向上に繋がりに、市民の安全が確保できる

しかし…

新たに愛知県が補助制度を作り、国・県・市で補助金を負担することに伴い、市は負担額を引き下げ。

＜主張＞  
取り壊し補助は耐震率の向上に寄与しており、耐震化を促進させるためには、市の補助額を下げるべきではない。

＜市の回答＞  
H30年4月から住宅の取り壊し補助の増額ができるよう関係課と調整する。

今後も住宅の耐震化の促進に向け、効果的な政策を進めるようフォローしていきます。

## 9月議会での一般質問の内容

### 3. 工業用地の早期開発と市民の安全確保

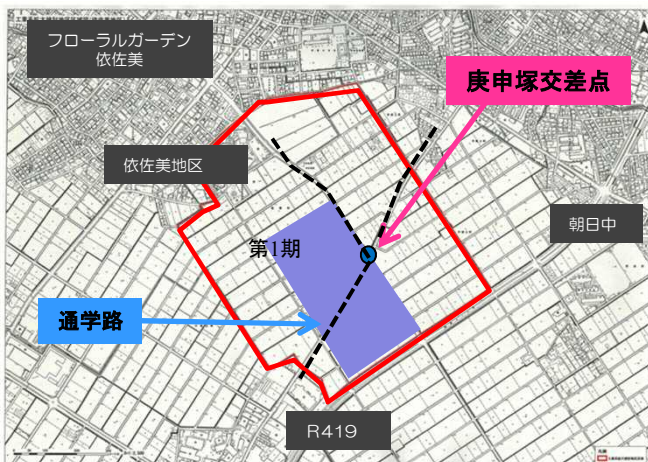
定期的にフォローした、工業用地の開発が早期開発に向け進捗！  
依佐美地区の第1期（15ha/58ha）工業用地の造成が1年早期化

企業からの移転・拡大のニーズが高く  
**開発スピードを加速させる必要あり。**  
（33社の意向あり 28haに上るニーズあり）  
声を届けたことで、**1年早期化が実現**  
（28haのうち10haが第1期の販売面積）

市の産業発展を促進

日頃から市民の皆さんから交通環境の  
整備による安全の確保について要望を  
いただくことを踏まえ、**開発段階から**  
**工業用地に隣接する道路改善も要望し、**  
**実現に向かう**

市民の暮らしやすさ、安全の確保



依佐美中学校の通学路

片側歩道 歩道が狭く安全上問題



通学路の安全対策  
道幅の拡張、両側歩道

鋭角な交差点(庚申塚)



交差点改良  
角度是正、待機スペース

さらに、多くの企業からのニーズを受けて、第2期整備(残り43ha)の早期着手と早期実現に向けた組織変更及び人のリソースを訴えました。市の産業発展を担う工業用地造成に向け、引き続き尽力してまいります。

## くらしの相談（皆さんからの要望に対応しました）

### 道路のサインボードの更新

小高原小東交差点



市道：小垣江重原線



### 市道の凸凹対策（野田町筒林・東刈谷市民館前）

道路の凹み、浪打の補修依頼に対応しました



## くらしの相談



地域での困りごと、市政に対するご意見・ご要望等がありましたら  
お気軽に「鈴木浩二 くらしの相談室」をご利用ください。

TEL：0566-25-9950 FAX：0566-23-8688

ホームページを開設しました。お時間がありましたら是非ご覧ください。

鈴木浩二

検索

ホームページからも受付けております。